

<p>44</p>	<p>後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (保健福祉局健康推進課) (保健福祉局認知症支援・介護予防センター) (保健福祉局地域福祉推進課)</p>	<p>本市の高齢者の生活習慣病等の疾病予防・重症化予防や介護予防・フレイル予防を一体的に実施し、市民の健康寿命の延伸を推進します。KDBシステムを活用して、健康課題を分析・把握し、対象者を抽出して、国民健康保険の保健事業と後期高齢者医療制度の保健事業、介護予防事業・フレイル対策を接続させ、福岡県等と連携しつつ、効果・効率的に実施します。</p> <p>【健診受診者のうち受診勧奨値で未治療・治療中断者割合及び人数】 R1:291人(0.2%) → R5年度:基準値より減少</p>
<p>45</p>	<p>高血圧を切り口とした生活習慣病への対策 (保健福祉局健康推進課)</p>	<p>死亡や重篤な後遺症を引き起こし、医療費・介護費の高騰を招く脳血管疾患・虚血性心疾患の最大の危険因子である高血圧を予防するため、日本高血圧学会など関係団体と連携し、定期的な血圧測定、ハイリスク者への保健指導、減塩の推進など「高血圧ゼロのまち」に向けた取組みを推進します。</p> <p>【国保特定健診受診者のうち高血圧症(180mmHg/110mmHg以上)の者の割合】 H28年度:0.92% → R5年度:0.65%</p>
<p>46</p>	<p>健康マイレージによる健康づくり (保健福祉局健康推進課)</p>	<p>介護予防・生活習慣改善等の取組みや健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを景品と交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取組みを促進します。</p> <p>【健康づくりや介護予防のために取り組んでいることがあると答えた高齢者の割合】 R1年度:62.6% → R5年度:基準値より増加</p>
<p>47</p>	<p>健康診査(がん検診等)の実施 (保健福祉局健康推進課)</p>	<p>がんなどの生活習慣病予防対策の一環として、これら疾患の疑いのある人や危険因子を持つ人をスクリーニングするため、胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がんなどの各種がん検診や、骨粗しょう症検診、基本健診を実施します。</p> <p>【がん検診受診率】 H28年度:2.7%~20.1% → R5年度:10%~33%</p>
<p>48</p>	<p>口腔保健の推進 (保健福祉局健康推進課) (保健福祉局認知症支援・介護予防センター)</p>	<p>糖尿病などの生活習慣病の予防・重症化予防と関連のある歯周病の予防や、誤嚥性肺炎の予防に重要な口腔ケア、口腔機能の維持・向上について、普及・啓発し、健康寿命の延伸に重要な歯と口の健康づくりを推進します。</p> <p>【歯周病と糖尿病の関係を知っている人(40歳以上)の割合】 H28年度:33.2% → R5年度:50.0%</p> <p>【口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている人(65歳以上)の割合】 H28年度:55.1% → R5年度:70.0%</p>

49	北九州市国民健康保険の 特定健診・特定保健指導の実施 <small>(保健福祉局健康推進課)</small>	<p>北九州市国民健康保険に加入する40～74歳を対象に、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍を減少させることを目的として、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を実施します。また、健診の結果、生活習慣の改善が必要な対象者への特定保健指導を実施します。</p> <p>【特定健診受診率】 H28年度:35.8% → R5年度:60%</p> <p>【特定保健指導実施率】 H28年度:30.0% → R5年度:60%</p>
再	介護予防・自立支援のための 総合プログラムの実施	(再掲No.55)
再	生活習慣病予防・重症化予防のための 健康教育の実施	(再掲No.85)
再	介護予防・生活支援サービスの 提供体制の確保	(再掲No.141)